

＜共テ古文ゼロから満点講座＞第三講 文法問題編

第三講はみんながキライな助動詞の攻略です！活用形の意味を知れば、丸暗記をせずにすみます！次のポイントを見てください！

「ポイント③活用形と助動詞の関係」

未然形＝

（↓下にくる助動詞は）

（）

① やってない…打消「

② やらない…打消推量・意志…」

③ 多分そうなる…そうする…」

④ やりたい…希望「

⑤ もしも…反実仮想…」

（例外）「る・うる…」

す・さす・しむ…」（

）外部に左右される世界
↓未然形

連用形

＝本来は「下に用言」動詞・形容詞・形容動詞「がくるよ」形

↓助動詞になると（

）がくるよ

① 過去「

② 完了「

③ 過去推量「

（例外）「希望↑感情が心の中にすでにあるイメージ

終止形＝

（↓下にくる助動詞は）

（）のノミ

① 今、推量している…現在推量「

② ほぼ確定の未来…」

③ 今、見て、○○らしい…推定「

④ 今、○○らしい…推定「

⑤ 今、音を聞いて○○らしい…推定「

声・話を聞いて…伝聞「

⑥ ほぼ確定でやらない…」

連体形

＝本来は「

」形

「体言の下にも入る」

↓助動詞になると（

）がくるよ＝「

※断定の「は体言の下だけ

已然形

＝

（↓下にくる助動詞は）

（

(例題1)

問・波線部の「ち」に対する文法的説明として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選ぼう。(サンターニョ四本試『ついでに』)

- a. 戸口へ入さながらなるに
b. 雨をさそへる秋風
c. わびしく降りしきるに
d. 機にかかれる葛のさま
e. いとよく醒むなるものを
ち. 思ひ続くることどもの多かるを

- ① a・eは、いずれも断定の助動詞の一部である。
② b・dは、いずれも完了・存続の助動詞である。
③ c・fは、いずれも動詞の活用語尾である。
④ a・eは、いずれも伝聞・推定の助動詞の一部である。
⑤ b・dは、いずれも動詞の活用語尾である。

(解説)

① まず用言を切る！ 動詞→「を付ける

a. さながらなる→「さながら」「はっ。っ。」さながらに」「で形容動詞？

(注意！)

識別問題で、「切れない」「よくわからん」「とな。たり、()」
絶対にそこで足踏みしない！

b. さそへる→「る」→()で切る→「る」+「る」

(文法ポイント「る」の識別)

「ア段の音+「る」れ」→()の「る」
「エ段の音+「る」れ」→()の「る」

「せそへる」()の音なので、「る」は()の助動詞！

c. 降りしきる→「る」→()で切る→

「降りしきる」は()形なので、
「る」は()の助動詞！

d. かかれるる→「る」→()で切る→「る」+「る」

「かかれ」は()の音なので、「る」は()の助動詞！

とくに「る」の時点で()は合っているのび()が正解！
なるんですが、一応他の選択肢もチェックします！

e. 醒むなる ↓ 「醒む」

↓ ()

() で切る！

() ↓ 「醒む」は ()

は ()

() 形なので、「なる」の「なり」

f. 多かる ↓ 「から・かり・かる・かれ」は ()

[多し] ()

() ↓ 「多かる」は ()

() の一部

g. さながらなる は、「

」の意を表す副詞「さながら」で、副詞の下には

() がくるのだが、「なる」は動詞なのか？「そのままなる」だとよくわかる
らない！

(注意！)

助動詞は必ず ()

() にしか付かないが、()

() だけは例外！

なので副詞の下でも「なり」は () ！

(例題2)

問 次の線部「れ」の文法的説明として正しいものを、次の①～⑤のうちから
一つ選ぼう。(センターの四本試「源氏物語」)

と驚かれ給うて、三条殿に渡り給へれば…

- ①完了の助動詞 ②受身の助動詞 ③可能の助動詞
④自発の助動詞 ⑤尊敬の助動詞

(解説)

「る・れ」の識別問題です。さき文法ポイントでまとめた通り、
上の音がア段なら () エ段なら () となる！

今回は、「驚か+れ」と () の音+「れ」なので、() が正解候補
となる。

「る」「ゐる」「の」「ポイント」

①まず () 「か」 () 「か」で考える！

②下に打消の音があれば () (鎌倉以降の文は例外)

③主語がエライ人なら () (↑) () は () () には
ならない！

④上 () () () があれば () () 「

思ふ・思ふなり 思ふ・思ふなり 思ふ・思ふなり

設問に返ると、「れ給う」の形になってゐるので、()となり、正解は()となる。そして上に「驚く」という心情動詞があるのだ。()となり、正解は()となる。

(例題3)

問①②③の空白部分にはすべて補助動詞「侍り」が入る。正しい活用形を、次の①②⑥のうちから、それぞれ一つずつ選ぼう。(センター2002本試)

- ①心あらん人はたづね見て心得られ()べきか。 []
②「家の秘説は我こそ習ひ伝へて」 []
③明察の御代に皆あらはれ()ぬるにこそ。 []

- ①未然形「侍ら」 ②連用形「侍り」 ③終止形「侍り」
④連体形「侍る」 ⑤已然形「侍れ」 ⑥命令形「侍れ」

(解説)

① 助動詞「べし」の上に何形がくるか? 「べし」は現代でも「行くべきだ」とか「話すべき」とか使いますよね? この「行く」「話す」は終止形や連体形なんです、ここで重要ポイント!

(文法ポイント)

連体形の下に来る助動詞は()

()だけ!

ということ、で「べし」の上は()。では正解は()になるー。と言いたいところですが、実は注意すべきポイントがあります。

(文法ポイント)

()「に」助動詞がくるときだけ例外的に()の下に助動詞がくるー!

なので、正解は()となる。

⑥ 文末なので終止形か命令形がくるんですが、今回は「い」があるので、文末は()になりますー(第40講ポイント⑤)正解は()

③ 助動詞「ぬる」は何か? 「ぬ」の形になっているので、()の助動詞「ぬ」の()形ですーポイント③から()の助動詞の上には()形がくるので、正解は()となる。

(例題4)

問. 波線部 a、c、d の文法的説明の組合わせとして正しいものを、次の

①～⑤のうちから一つ選ぼう。(センター2013本試『松陰中納言物語』)

- a. 御身には染ませ給はぬにや b. 夢の音にやあるらん
c. むべにこそあなれ d. 賜ひぬべけれ

「」

① a. 打消の助動詞

b. 断定の助動詞

c. 形容動詞の活用語尾

d. 完了・強意の助動詞

② a. 完了・強意の助動詞

b. 格助詞

c. 断定の助動詞

d. 動詞の活用語尾

③ a. 打消の助動詞

b. 形容動詞の活用語尾
d. 打消の助動詞

④ a. 完了・強意の助動詞

b. 格助詞

c. 形容動詞の活用語尾

d. 打消の助動詞

⑤ a. 打消の助動詞

b. 断定の助動詞
d. 完了・強意の助動詞

(解説)

a. 「ぬは、給は」といふ

) (=)

(形に接続してなるので、

() の助動詞「ず」の

形。

b. 「には」は名詞「音」に接続し、下に「や」とある。「らん」を伴っている。基本的に、下に「あり」があるとき、「には」は () になる。ただ、「あり」をつないで、「と訳せな」といふ () にはならないです。

今回は、

「+」「の」「ひん」があり、

となる形です。

「+」

「の」「ひん」は

() の典型パターン。

c. 「に」は副詞「むべ」に接続して「いふ」に用いるが、副詞だとすると係、ていへ () がな。これは副詞「むべ」から派生した ()
むべなりの () (形活用語尾である。)

d. 「と訳す」 () の

助動詞となる。

よって、正解は () となる。

